

マテリアリティ（重要課題）における目標とKPI

<評価基準> ○：目標を達成/概ね順調に進捗中 △：取り組み実績はあるが、努力の余地あり ×：進捗なし —：当年度は評価しない

マテリアリティ	取り組みテーマ	目標とKPI	2022年度の成果・進捗	進捗	変更後の目標とKPI（変更後は赤字文字）
人権	サステナビリティ調達の浸透	● 2025年 サステナビリティ調達100%実現	●サステナビリティ調達方針の展開100%	○	→ステークホルダーの項目へ移動
	人権に対する負の影響の特定と人権デュー・デリジェンス仕組み作り	● 2024年 人権に関する負の影響の特定・それらを防止、軽減を図る 人権デュー・デリジェンスの仕組みの構築	●人権デュー・デリジェンス仕組み構築に向けた取り組みとして、 人権課題の把握・特定を実施	○	● 2024年 人権に関する負の影響の特定・それらを防止、軽減を図る 人権デュー・デリジェンスの仕組みの構築
従業員	労働災害	● 休業災害 度数率 0.20 以下、労働災害 強度率 0.00 ● 2025年 グループ各社 安全衛生に関する外部認証取得 (ISO45001など)	●度数率：国内1.22 海外4.09 強度率：国内0.02 海外0.06 ●安全衛生に関する外部認証取得に向けた取り組みを継続実施	△	● 休業災害 度数率 1.20 以下、強度率 0.00 (国内企業) ● 2025年 グループ各社 安全衛生に関する外部認証取得 (ISO45001など)
	健康経営	● 2022年 ストレスチェック 受検率100%（国内企業対象） ● 健康経営優良法人認定取得に向けた取り組み (喫煙率の低下に向けた取り組み、食事の改善、運動機会の増進、感染症予防)	●ストレスチェック受検率100%（国内企業対象） ●健康経営優良法人認定取得に向けた各取り組みを継続実施	○	● 健康経営優良法人認定取得に向けた取り組み (喫煙率の低下に向けた取り組み、食事の改善、運動機会の増進、感染症予防)
	ダイバーシティの推進	● 新卒採用の一次選考受験者の女性比率を40% ● 2030年 障がい者雇用率を法定雇用率以上 確保	●女性活躍の推進活動を継続実施 ●障がい者採用活動を継続実施	△	● 女性活躍の推進 ● 障がい者雇用率を法定雇用率以上 確保
	ワークライフバランスの実現	● 2030年 男性の育児休業取得100% ● 2025年 育児・介護と仕事の両立を支援できる取り組みの拡充と雇用の定着	●育児休業取得希望者は確実に取得 ●育児・介護と仕事の両立を支援できる各取り組みを継続実施	○	● 育児・介護と仕事の両立を支援できる取り組みの拡充と雇用の定着
コンプライアンス	各種ガイドライン策定，教育・研修の実施、役職員行動規範の浸透	● 公正取引，反社会的勢力の排除 ● コンプライアンス研修の継続による公正な企業活動と企業倫理 (法令遵守を含む) の徹底 ● 各種ハラスメントの未然防止および内部通報制度の活用による早期解決の徹底	●コンプライアンス研修を全従業員に実施 (受講率100%)	○	● 公正取引，反社会的勢力の排除 ● コンプライアンス研修の継続による公正な企業活動と企業倫理 (法令遵守を含む) の徹底 ● 各種ハラスメントの未然防止および内部通報制度の活用による早期解決の徹底
地球環境	脱炭素社会への貢献	● 2050年 Scope1,2 カーボンニュートラル ● 2030年 Scope1,2 GHG排出量30%削減（2019年度比） ● 2030年 Scope3 GHG排出量20%削減（2019年度比）	●Scope1,2 GHG排出量14.0%減少（2019年度比） ●Scope3 GHG排出量0.8%減少（2019年度比）	○	● 2050年 Scope1,2 カーボンニュートラル ● 2030年 Scope1,2 GHG排出量30%削減（2019年度比） ● 2030年 Scope3 GHG排出量20%削減（2019年度比）
	水資源の持続可能な利用	● 2030年 水原単位削減7%削減（2019年度比）	●水原単位削減10%削減（2019年度比）	○	● 2030年 水原単位削減7%削減（2019年度比）
	資源循環社会への貢献	● 枯渇性資源の使用量削減に努める ● 2030年 廃棄物 単純焼却、埋め立てゼロ	●枯渇性資源の使用量削減 ●PET樹脂のバージン材使用量 前年より減少 ●単純焼却：99トン、埋め立て：24トン	○	● 枯渇性資源の使用量削減に努める ● 2030年 廃棄物 単純焼却、埋め立てゼロ
製品	環境配慮した製品開発	● サステナブル商品・サービスの開発 メタル缶：顧客ニーズによる容器の小型化、軽量化 ペットボトル：リサイクル材使用割合の拡大 受託充填：支給される環境配慮型製品の円滑生産	●環境配慮材（メカニカルリサイクル材・ケミカルリサイクル材・バイオ材） 使用量 前年より増加	○	● サステナブル商品・サービスの開発 メタル缶：顧客ニーズによる容器の小型化、軽量化 ペットボトル：リサイクル材使用割合の拡大 受託充填：支給される環境配慮型製品の円滑生産
	品質向上	● 法令遵守 ● 顧客満足度向上 ● 回収事故発生ゼロ	●品質向上活動継続 ●回収事故なし	○	● 法令遵守 ● 顧客満足度向上
情報管理	情報資産の機密性・完全性・可用性の確保・向上	● 情報漏洩ゼロ	●情報漏洩なし（情報漏洩の検出・報告なし）	○	● 情報漏洩ゼロ
地域	地域社会との調和	● 地域社会から信頼される企業グループであること	●各種地域貢献活動実施	○	● 地域社会から信頼される企業グループであること
ステークホルダー	ステークホルダーとの真摯な対話を実施	● 持続可能な社会の実現に必要な社会的課題の把握・解決に取り組む	●ステークホルダーとの各種取り組みを実施	○	● 持続可能な社会の実現に必要な社会的課題の把握・解決に取り組む ● サプライヤー・ブランドオーナーと協働し脱炭素課題の解決に取り組む ● サステナビリティ調達の浸透に取り組む